

年次継続監視評価表(令和6年度)

1 基礎情報

対 象 施 設	春日部第1児童センター(エンゼル・ドーム)
施設の設置目的	児童福祉法(昭和22年法律第164号)による児童福祉施設で、児童に健全な遊びを提供して、その心身の健康を増進し情操を豊かにする。
施設所管部署	こども未来部こども育成課
指 定 管 理 者	株式会社コマーム
指 定 期 間	令和2年4月1日から令和7年3月31日
指定管理業務内容	(1)児童への健全な遊びの指導に関すること。 (2)児童への健康増進の指導に関すること。 (3)児童福祉に関する団体の育成に関すること。 (4)子育てに対して不安や悩みを抱える者からの相談に応じるなど、子育て支援に関すること。 (5)施設及び設備の維持管理に関すること。

2 施設利用状況の推移

区 分	過去5年間の平均	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人数(件数)	139,436人	30,368 人	59,007 人	69,141人	89,366人	82,692人
対前年度比	-	一人	28,639 人	10,134人	20,225人	-6,644人

3 施設利用者の満足度(利用者アンケート結果)

区 分	回答者数	満足度				
		施設・設備管理	接客対応	教室・イベント等	その他	全体
上半期	280人	98.7%	99.8%	98.3%	96.4%	98.3%
下半期	198人	99.7%	96.0%	99.0%	96.1%	97.7%
利用者の主な意見・要望等	・いつも温かく接してくれるため、安心して利用できる。 ・改修工事でまた設備が良くなるのが楽しみ。 ・イベント時の写真を撮影し、販売してほしい。 ・プレイルームのカーテン、遊具下のマットを新調してほしい。					

4 主な自主事業実績

自主事業名	内 容	参加者数等
エンゼルファミリーコンサート	アンサンブルによる演奏を実施	187人
親子クッキング	食育の一環として、親子でお菓子作りを実施	222人
出張児童館	春日部市「子供の町」へ出張し、昔の遊びを提供	28人

5 主な修繕実績

修繕箇所・修繕名等	内 容	金 額
スライダープール内段差修繕	地盤沈下によって生じたスライダープールの内段差補修	385,000円
噴水エリア電磁弁取替修繕	泡型・アーチ型噴水電磁弁の取替(各1か所)	343,200円
学習棟自動ドア修繕	自動ドア従動プーリー交換	22,792円

6 収支状況

(単位:円)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合 計
収入額 A	56,430,800	56,230,800	56,230,800	55,930,800	55,930,800	280,754,000
内、指定管理料 a	55,930,800	56,230,800	56,230,800	55,930,800	55,930,800	280,254,000
内、利用料金収入	0	0	0	0		0
支出額 B	56,430,800	56,230,800	56,230,800	55,930,800	55,930,800	280,754,000
内、人件費	31,427,956	33,146,867	29,653,524	31,493,115	29,683,344	155,404,806
収支額 A-B	0	0	0	0	0	0
対前年度比	-	0	0	0	0	0
想定事業費 C	57,405,844	58,619,933	61,977,276	59,155,685	70,231,456	307,390,194
削減額 C-a	1,475,044	2,389,133	5,746,476	3,224,885	14,300,656	27,136,194
特記事項 (増減額の説明等)						

※「想定事業費」:市が直営で管理した場合に想定される事業費

7 四半期継続監視評価結果

区分	評価結果	特記事項(不適となった事項の有無、指導事項、改善状況 等)
第1四半期	A	不適事項なし
第2四半期	A	不適事項なし
第3四半期	A	不適事項なし
第4四半期	A	不適事項なし

※評価結果の凡例

A：適切な指定管理業務が実施されている。

B：適切な指定管理業務が実施されておらず、さらなる努力を要する。

C：全体的に適切な指定管理業務が実施されておらず、取組を見直す。

8 年間を通じた個別事項の評価

No.	評価項目	主な内容	適
1	住民の平等な利用が確保されているか。	事業等の内容に偏りがないか。	○
		施設の利用が一部の利用者に偏った計画・実施となっていないか。	○
2	施設の効用を最大限に発揮させているか。	サービス向上のための適切な方策が実施されているか。	○
		受付等業務従事者の接客態度・対応は適切か。	○
		パンフレットの整備等、積極的な利用案内が行われているか。	○
		自主事業は適正・効果的な実施となっているか。	○
3	施設の適切な管理運営が計画的に実施されているか。	事業計画書で提案された内容が適切に実施されているか。	○
		書類等文書の作成・管理・保存は適正に行われているか。	○
		施設の安全・衛生管理、危機管理、災害時等緊急時の対応は適切か。	○
		適切な計画の下、効果的な修繕・保守点検が実施されているか。	○
4	管理に係る経費の縮減が図られているか。	事業収支は事業計画書による計画と乖離していないか。	○
		指定管理料の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われているか。	○
		サービス水準を確保した効果的な経費縮減に取り組んでいるか。	○
		会計処理業務が適切に行われているか。	○
5	安定的な運営体制が確保されているか。	職員体制は十分か。	○
		職員の育成指導、研修体制は十分か。	○
		適正な雇用・労働条件が確保されているか。	○
6	その他	個人情報に関する情報の管理体制は十分か。	○
		地域経済の活性化に繋がる市内事業者との連携が図られているか。	○
		市との適正な信頼関係や協定書等に基づく協力関係が築けているか。	○
適(○)の数		20 / 20	

9 総合評価

住民サービスの向上や経費の節減について

利用者アンケート結果では、全体満足度が上半期98.3%、下半期 97.7%と高く、「いつも親切に対応してくれる」「こどもと遊んでくれて助かる」などの意見がありました。また、空調設備更新工事の影響により、限られたスペースでの運営となる時期もありましたが、工夫をしながら柔軟に対応していました。

指導に対する対応・改善状況について

不適事項及び指導は特にありませんでした。

その他(上記以外の制度導入による効果、業務状況、課題、今後の方向性等)

出張児童館を実施するなど、地域への遊びの提供に努めていました。また、「お父さんと一緒」などより広いニーズに対応した事業の実施をしていました。今後も充実した講座やサービスを提供し、利用者の方々に満足していただけるような児童センターの運営に努めてください。

令和6年度の評価結果

A